

びふか  
議会です

こんにちは。

2024年11月  
北海道／美深町議会

姉妹町 添田から

5年ぶりの訪問

(前列右：添田町 寺西町長 同左：畠田議長)

第3回会 補正予算 令和5年度決算を認定 ..... 2~8ページ

補正予算 条例改正 洪水ハザードマップ更新 ..... 9~10ページ

一般質問 4議員に町の答弁は ..... 11~14ページ

委員会報告 地域おこし協力隊の実績と課題 J-クレジット・森林環境譲与税 ..... 18~19ページ

街&仲 インタビュー 美深高校写真部の皆さん ..... 20ページ

第131号

美深町議会

検索

美深町議会  
ホームページ

美深町議会  
Facebook



ホームページとFacebookから  
議会の情報をご覧いただけます。

# 令和6年 第3回定例会

【9/12~19】

第3回定例会は9月12日に開会し補正予算・条例改正案が提出され、一般質問には4議員が登壇しました。

17、18日の2日間に渡り、令和5年度の決算審査が行われ、草野町長の就任1年目を総括する決算に対し質疑、意見が出され、結果は認定すべきものとして本会議に報告されました。19日には、追加議案も含め全議案を可決し閉会しました。



副委員長  
田中真奈美 議員



委員長  
荒川 賢一 議員

決算審査特別委員会（議長・監査委員を除く議員）では、荒川議員を委員長、田中議員を副委員長に選出し、第6次総合計画をもとに、各事業や施策の効果、改善点について、活発な質疑が行われました。

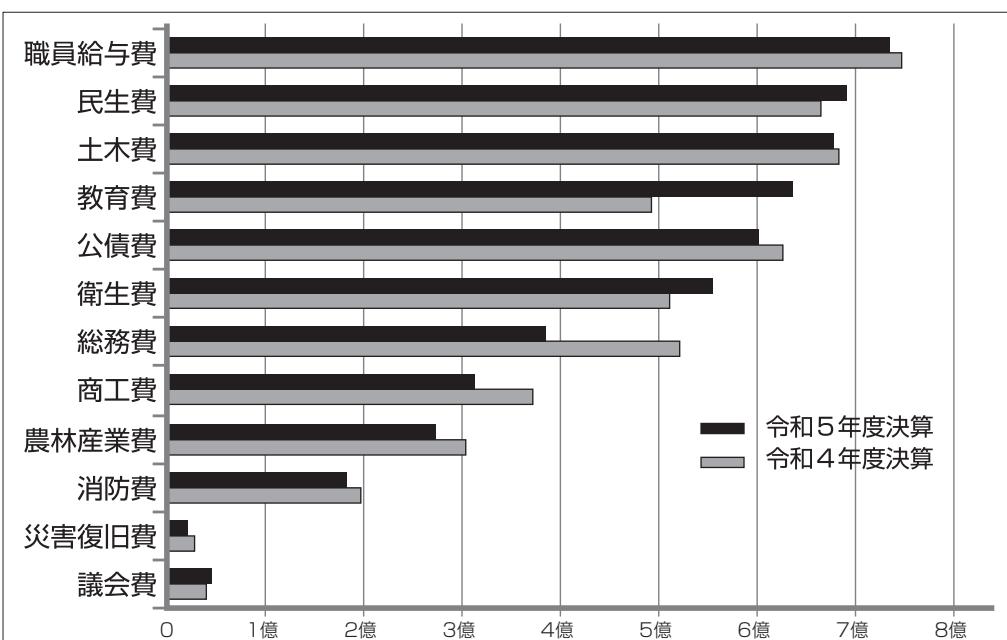
## 決算審査

**基金残高は前年度比6%増加**

### 歳出決算額51億2573万円（前年度52億647万円）

年次計画で西団地公営住宅建替事業と、美深小学校体育館の耐震化を実施しましたが、美深町職員住宅建設事業や、びふか温泉改修事業が完了したことで、歳出において前年度比1.6%の減少となり、収支は5億3千百万円余りの黒字となりました。

また、基金積立金の現在高は、剰余金の編入やふるさと納税の寄付金積み立てなどにより、総額51億195万円と前年度より6.1%増加しました。



**令和5年度決算を認定**

## 第1章 人と自然が調和する 快適で安全なまち

### ●環境保全・環境衛生、 道路・交通、防災・消防、 情報化の充実・推進

質問者 蠍崎・藤原・田中  
和田・中瀬・小口  
名取・木下委員



既存のハザードマップ

現在、地域防災計画やハザードマップの更新を予定し、避難所を作製したい。意見もあり避難所の備品を整備し、満足度を上げるよう取り組む。

**問** 人口減少に伴い、有収率は減少しているが漏水率は少していない。漏針を行い、異常な水漏れがある場所を中心に調査し、町内で3カ所漏水していたが、全て復旧したため有収率は上昇していくと考える。

また、各地では漏水調査を人工衛星を使って行う自治体もあるが、高額であるため広域での取り組みを検討するなど、有収率向上に努める。

**答** 町道の除草頻度、アスファルトの整備状況の計画は、業者へ委託しており、歩道の縁石は手作業なので一部除草剤で対応している。

また、除草されない道路は苦情が来るたびに、委託業者と協議し対応している。

**問** 町道保守については、国や道と協議しながら予算の範囲内で行う。

**答** 今後、防災訓練の実施は、コロナ禍により訓練が滞つている状況であるが、新年度に向けて調整していく。

**問** 町で実害は無かつたので、今後も警察と連携して対応していきたい。

**答** 村で343件相談があり、美深町は11件相談がきいている。

**問** 消費生活相談の問合せと被害状況について。

**答** 近隣の5市町で、今後も警察と連携して対応していきたい。

**問** 防災力の向上

**答** 現在、地域防災計画やハザードマップの更新を予定し、避難所を作製したい。

意見もあり避難所の備品を整備し、満足度を上げるよう取り組む。

**問** 情報端末機の配信

**答** 観光協会、農協、社協の5カ所で発信することができ、町内業者や町内に住む方と限定しており、申し込む段階で相談しながら、配信内容を精査している。

**問** 公営住宅の空き部屋があるのに、住宅を求める声があるが。

**答** 公営住宅は収入要件で合致しているので、振興局と相談し既存の公営住宅を「みなし特公賃」として整備するよう協議している。

**問** 公営住宅の有効利用

**問** デマンドバス利用率向上

**答** 仁宇布地区から幼児センター等に通学、通園する子どもが減少している。他にはトロッコ王国で働く人が利用しているので、今後は働いている方が利用していくと考える。



有効利用が求められている公営住宅

## 第2章

### 地域産業の新たな飛躍へ 挑戦するまち

●農業・林業・商工業・  
観光の振興

質問者 田中・轟崎・藤原・  
名取・小口・中瀬・  
木下・和田委員



松山湿原  
デジタルガイドマップ

問 農業の振興  
答 申し込みが非常に少なく、課題はどのようにPRし

問 農業の振興  
答 農業研修生の宿舎の活用について課題は。

答 農業の振興  
問 農業の振興  
答 基本的には農業中心に利用してもらう様に

答 農業の振興  
問 農業の振興  
答 基本的に3年で林業の概要について学び、屋外で育林実習や間伐を想定した実習、仁宇布小中学校の見学、松山湿原の登山、林産協同組合の工場見学等を行っている。成果としては上川北部森林組合に一名就業している。



チョウザメ定食 おいしそう！

問 美深町の魅力ある自然を活かしたPRを、より上手く推進するための協議は行っているか。  
答 主に松山湿原の魅力を広めていく事を考えている。

地域おこし協力隊のインターネットと協力して今年、松山湿原のデジタルガイドマップを作成し、スマホで高山植物の写真や見ごろの時期など確認しながら登山できるような仕組みができたので周知していく。

問 農業の振興  
答 受講生が減少している事は課題だが、人数が多いと畜産、酪農園芸と様々な方がいる中でどうしても広く浅くなってしまう側面があるが、少人数によって受講生が専門的に深く学べている面もあると分析している。

問 担い手育成  
答 この事業の一目的は農業に関わる事柄を学ぶ事にあるが、塾生たちの交流も重要な役割として存在している。

問 担い手育成  
答 この事業の一目的は農業に関わる事柄を学ぶ事にあるが、塾生たちの交流も重要な役割として存在している。

問 担い手育成  
答 基本的には農業中心に利用してもらう様に

答 林業の振興  
問 林業の振興  
答 生が訪れ、座学で林業の概要について学び、屋外で育林実習や間伐を想定した実習、仁宇布小中学校の見学、松山湿原の登山、林産協同組合の工場見学等を行っている。成果としては上川北部森林組合に一名就業している。

問 チョウザメ事業  
答 キャビアに関しては販売先が確保されていて見込みがある様に思えるが、魚肉の部分に関して今後有効活用していくのか。

問 チョウザメ事業  
答 現状、美深温泉のレストランが休止になつておりチョウザメ料理を提供しづらい状況な

P R活動の推進

担い手育成

チヨウザメ事業

していく事を基本としている。

## 第3章

### 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち

● 幼児教育、学校教育、社会教育、芸術文化、スポーツの振興

質問者 田中・名取・藤原・小口・和田・鷺崎・中瀬委員

**答** 市民が所有する歴史資料の情報提供にどのように対応してきたか。また、伝承遊学館の学校教育などの利用状況は。

**問** 町民が所有する歴史資料の情報提供にどのように対応してきたか。また、伝承遊学館の学校教育などの利用状況は。

**答** いっては、職員のシフト等の関係もあり、実情に合わせた検証を進め、判断していく。

**問** 開館時間についても検討を行っているが、開館時間の検討は行っているか。

**答** 開館時間については、職員のシフト等の関係もあり、実情に合わせた検証を進め、判断していく。

**問** 児童館の利用が増えており、利用実績に合わせた休館日の検証を行うとしているが、開館時間の検討は行っているか。

**子どもの居場所づくり**

**答** 平成31年度と令和5年度の全国学力・学習状況調査で英語が落ち込んでいますが、学校運営協議会や教育委員会議での学力向上への対応は。

**答** 保護者も含めて、総力で進めでは、アンケートでは「英語の授業が楽しい」と多くの子どもたちが感じており、確実に成果が表れるようになりたい。

**答** 平成31年度と令和5年度の全国学力・学習状況調査で英語が落ち込んでいますが、学校運営協議会や教育委員会議での学力向上への対応は。

**答** 平成31年度と令和5年度は過去最高の支出であったが、町からの支出は減となり、基金の枯渇の心配はないか。

**問** 保護者も含めて、総力で進めでは、アンケートでは「英語の授業が楽しい」と多くの子どもたちが感じており、確実に成果が表れるようになりたい。

管理の課題もあるが、広くPRを行い、子どもたちも含め、地域からも対応しており、今後も活用を考えていく。

**答** 地域におけるスポーツ活動の課題には、どのようなものがあるか。

**答** 地域におけるスポーツ活動の課題には、どのようなものがあるか。

**答** 地域におけるスポーツ活動の課題には、どのようなものがあるか。

**答** 地域におけるスポーツ活動の課題には、どのようなものがあるか。

**問** 地域におけるスポーツ活動の課題には、どのようなものがあるか。

保護者とも連携していただきたいと考えてあります。ご理解をお願いしたい。

**答** 部活動の移行については、種目によって外で行われている一方、それ以外の種目では指導者の確保など、他の地域の状況も加味しながら、話し合いを進めなければならない。

**答** 部活動の移行については、種目によって外で行われている一方、それ以外の種目では指導者の確保など、他の地域の状況も加味しながら、話し合いを進めなければならない。

**答** 部活動の移行については、種目によって外で行われている一方、それ以外の種目では指導者の確保など、他の地域の状況も加味しながら、話し合いを進めなければならない。

**答** 部活動の移行については、種目によって外で行われている一方、それ以外の種目では指導者の確保など、他の地域の状況も加味しながら、話し合いを進めなければならない。

**問** 部活動の移行については、種目によって外で行われている一方、それ以外の種目では指導者の確保など、他の地域の状況も加味しながら、話し合いを進めなければならない。

保護者とも連携していただきたいと考えてあります。ご理解をお願いしたい。

**答** 幼児センター費の不用額が624万円余りと大きいが、要因は、主な要因としては、一時保育の利用などの減による会計年度任用職員報酬の減、燃料費や光熱水費の減が大きな要因となっている。

**答** 幼児センター費の不用額が624万円余りと大きいが、要因は、主な要因としては、一時保育の利用などの減による会計年度任用職員報酬の減、燃料費や光熱水費の減が大きな要因となっている。

**答** 幼児センター費の不用額が624万円余りと大きいが、要因は、主な要因としては、一時保育の利用などの減による会計年度任用職員報酬の減、燃料費や光熱水費の減が大きな要因となっている。

**答** 幼児センター費の不用額が624万円余りと大きいが、要因は、主な要因としては、一時保育の利用などの減による会計年度任用職員報酬の減、燃料費や光熱水費の減が大きな要因となっている。



これからも推進したいスポーツ活動

## 第4章 健やかに安心して暮らせるまち

●健康づくり、医療、子育て、高齢者・障がい者福祉、地域福祉の充実

質問者 和田・名取・田中・中瀬・木下委員



令和5年度開催が中止となった  
「全町シニア元気アップフェスタ」

<p>問 難病患者への支援体制</p> <p>難病患者の通院交通費助成事業について、全対象者が補助を受けられてい るか。今後の支援拡大予定はあるか。</p>	<p>答 医療受給者証保有者を把握できないため、広報やホームページのほか、申請窓口である保健所に依頼して周知を行っている。 小児難病患者への補助を通院だけでなく、短期入院にも拡大している。</p>
<p>問 福祉イベントの中止理由と再開計画</p> <p>令和5年度「シニア元気アップフェスタ（健康づくりと交流を目的とした催し）」の中止理由は。再開予定はあるか。</p>	<p>答 令和5年度「シニア元気アップフェスタ」と交流を目的とした催しの中止理由は。再開予定はあるか。</p>
<p>問 社会福祉協議会の職員体制について</p> <p>社会福祉協議会の職員退職による体制弱体化について、どのような対応をしているか。新しい職員の採用が進んでい る。</p>	<p>答 社会福祉協議会の日程調整が困難で、やむを得ず中止となつた。令和6年度以降の再開を目指して開催の有無にかかわらず、中止理由を丁寧に説明し、周知していく。 しなければならなかつた。</p>
<p>問 ボランティア拡充計画と担い手の確保</p> <p>シニア向けの「有償ボランティア困りごと相談」を全世代に拡大する計画と、担い手不足への対策状況は。</p>	<p>答 め、連携強化と体制強化に努めたい。 シニア向けの「有償ボランティア困りごと相談」を全世代に拡大する計画と、担い手不足への対策状況は。</p>
<p>問 自己負担見直し</p> <p>健康診査および各種がん検診の自己負担額の見直しに関する進ちょく状況は。</p>	<p>答 自己負担額の引き下げによつて、令和6年度の集団検診では、実質上39歳以下（社会保険加入者）の方は全員無料となり、受診者数が増加した。</p>
<p>問 ボランティア活動を全世代に拡大する計画だが、担い手不足が課題。社会福祉協議会と連携し、メニュー拡充や参加促進に取り組んでいきたい。</p>	<p>答 今後、ボランティア活動を全世代に拡大する計画だが、担い手不足が課題。社会福祉協議会と連携し、メニュー拡充や参加促進に取り組んでいきたい。</p>
<p>問 開業医誘致の課題と今後の対応</p> <p>開業医誘致が進まなかつた理由は。</p>	<p>答 薬局や看護師不足、患者数の減少が主な理由で開業が進まなかつた。</p>

## 第5章 みんなでつくる 自立したまち

●住民参画、関係人口の創出、  
行政経営の充実

質問者 名取・藤原・田中・  
和田・中瀬・轟崎・  
木下委員



各種イベントに参加する  
地域おこし協力隊

### 地域おこし協力隊

町民との対話  
や接点が少なく  
感じている。

任務の中での町民と  
の関わりについてどう  
捉えているのか。

また、任務期間の短  
いインターネットの町民へ  
の周知は。

任務によって  
は町民の方々と  
かかわる機会が少ない。  
担当部署からも積極  
的に行事などを知らせ  
て参加を促していくた  
い。

答

また、任務期間の短  
いインターネットの町民へ  
の周知は。

インターネットについて  
は就任直後にSNSに  
掲載と新聞社各紙に記  
事掲載を依頼している。

見るいただき、コラボ  
商品など隨時検討を進  
めている。

### ふるさと納税

新たに体験型  
返礼品を入れた  
成果は。

また、新たな返礼品  
の開発はどういった方々  
と協議しているのか。  
寄付者の満足度を向  
上させる取り組みは。

また、新たな返礼品  
の開発はどういった方々  
と協議しているのか。  
寄付者の満足度を向  
上させる取り組みは。

答

また、新たな返礼品  
の開発はどういった方々  
と協議しているのか。  
寄付者の満足度を向  
上させる取り組みは。

者の方と協議をしながら  
進めている。

返礼品のニーズは意  
見をいただき、コラボ  
商品など隨時検討を進  
めている。

### 移住体験住宅 推進

成果は出ている  
が最終目標の定  
住に結び付いていない  
ように思われる。

町に関心を持つても  
らえる今後の方策は。

利用される方  
に対するイベ  
ント案内を行い、美深  
の良さを知つていただ  
いている。アンケート  
も取り高評価をいた  
いでいる。

答

利用される方  
に対するイベ  
ント案内を行い、美深  
の良さを知つていただ  
いている。アンケート  
も取り高評価をいた  
いでいる。



### 仁宇布郵便局の 民間移管

仁宇布郵便局  
は必要な施設だ  
が、民間移管も難しい  
と考える。今後の方針  
は。

答

簡易郵便局は  
必要と考えてお  
り、民営化された時点  
で地域と一度話すべき  
だった。

若い世代をはじめふるさと会  
の加入募集の案内はどう  
うしているのか。

具体的に周知  
は行っていない

答

時代の流れを見なが  
ら会が継続できるよう  
考えていく。

実際に住むとなると  
住宅が課題になつてお  
り、空き家バンクなど  
でも対応しているが、  
条件が合わないため移  
住につながらないので  
はと考える。

簡易郵便局は  
必要と考えてお  
り、民営化された時点  
で地域と一度話すべき  
だった。

時代の流れを見なが  
ら会が継続できるよう  
考えていく。

## 総括質疑 討論・採決

決算審査特別委員会は、総合計画の第1章から第5章までの各章ごとの質疑のあと、締めくくりの総括質疑を行いました。

最後に、すべての決算案について、決算審査特別委員会としての採決が行われました。

質問者 小口・藤原委員

答  
きたい。  
ながら乗り越えてい  
る。増ししてきた部分があ  
る。厳しい財政の  
中、基金も積み  
増ししてきた部分があ  
る。

問  
地域の一般廃棄物中間処理施設建設、特別養護老人ホーム移転新築、町民体育館の修繕。また運営については厚生病院や深振興公社、チヨウザメ産業など歳出の増加が大きな懸念材料となつており、起債償還も令和8年から毎年5・6億円の返済が令和13年まで続く。来年度に向けた課題をどう考えているか。

健全財政  
来年度に向けた課題

## 総括質疑

問  
今後の予  
算編成措  
置現在の状  
況を認識し  
ていく考え方

答  
ながら、第6次美深町総合計画の確実な推進を図り、実事業を計画通り実施していくこと。丸となってこれらの事業を計画通り実施していくことを認識している。

### 決算審査特別委員会の採決

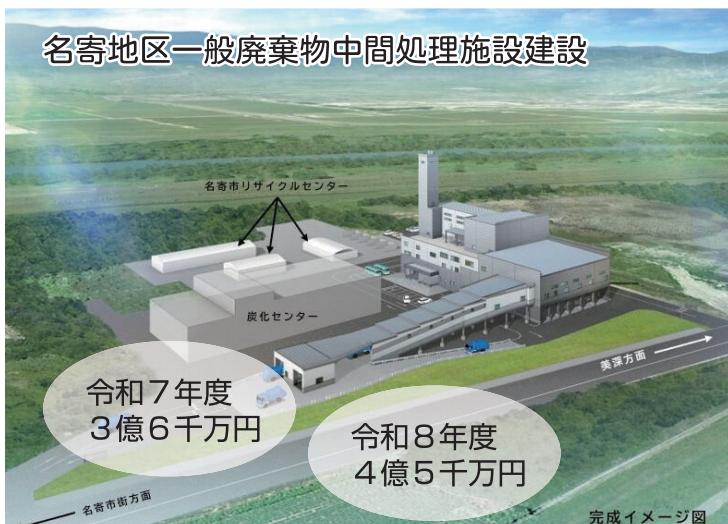
■令和5年度一般会計ほか6会計決算の認定  
：全員賛成で「認定すべきもの」と決定。

### 令和5年度 基金積立金の状況

単位（円）

基 金 名	令和5年度末現在高	基 金 名	令和5年度末現在高
財政調整基金	1,803,440,326	まちづくり応援基金	170,313,198
減債基金	525,465,928	災害見舞金交付基金	6,059,944
公共施設整備基金	1,748,356,928	育英資金貸付基金	23,965,456
美幸線代替輸送確保基金	253,376,711	美深高等学校卒業生奨学基金	50,486,191
文化会館COM100運営基金	50,196,766	美深町学校図書等整備基金	9,018,655
河川環境保全基金	20,000,000	チヨウザメ産業振興基金	111,046,779
地域福祉基金	130,179,935	森林環境整備基金	0
国保財政調整基金	154,815,860		
介護給付費準備基金	45,227,271	16基金 総額	5,101,949,948

### 今後の大型建設事業の起債借入見込み



# 地域防災計画改定と 洪水ハザードマップ更新に着手

## 一般会計 補正予算

主な補正	金額
土地改良区決済金等支援事業交付金	1,436万円
美深町地域防災計画改定業務委託料	278万円
洪水ハザードマップ更新業務委託料	224万円
美深厚生病院運営支援補助金	△2,031万円
ぬくもり助成事業費	590万円
予防接種業務委託料	465万円
児童手当費	284万円

土地改良区決済金等支援事業交付金では、水田活用直接支払交付金の畠地化に係る地区除外決済金等を支援する交付金が計上されました。また、平成28年に改定した地域防災計画の改定と、同年に作成した洪水ハザードマップの更新に関する業務委託料などの補正予算が提示されました。

今年に限って、車いすを新たに申請される方が増え、今回は4件。車いすと補聴器の支給実績と相談が増えています。

補装具の対象は、車いす、補聴器や、道具でも靴型器具など様々なものがあります。

は、実際に災害が発生した時にどこを指定するのか防災計画を含め検討し、避難訓練も実施しながら、しっかりと整理して作成したい。

低所得世帯に暖房費一万円を補助するぬくもり助成事業や、国による児童手当の制度拡充に伴う補正があり、

身体障害者（児）補装具費で補正の内容は、

補装具費支給需要に対応

洪水ハザードマップ改善点はまだある

避難所と一時避難所の指定に

交通安全啓発に重要な看板修繕

富岡生活改善センターに

児童手当の拡充が10月から開始



交通事故防止に重要な看板

- ①支給対象が拡大
- ②所得制限を撤廃
- ③偶数月に(年6回)支給

詳細は美深町ホームページをご確認ください



第3回定例会において一般会計補正予算に計上された、児童手当制度の拡充が10月から開始されました。国による「少子化対策の目玉」として、支給対象や所得制限などの内容が変更されています。

CHECK POINT



引き続き、国からは  
コロナ予防接種が推奨されている

**答** 主な理由は、療養型病床に変更したことと、看護師の配置基準が変わり、人件費が減ったことにより収支が変化したためである。

**問** 運営支援補助金の減額要因は。

コロナ予防接種  
今後の予定は

**答** 10月下旬から施設入所者の接種をはじめ、その後11月から一般の方の接種を予定し協議している。

コロナワクチンの接種は、インフルエンザ予防接種

のように期間が決まっているのか。

接種期間は、10月から3月までの半年間となっている。

原案可決 全員賛成

▼重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例

▼美深町国民健康保険条例

## 条例一部改正

**質問者** 荒川・藤原田中・望月和田・名取

原案可決 全員賛成

マイナンバーカードと健康保険の被保険者証の一体化に伴い、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることにより各条例の一部を改正するもの。

**答** マイナンバーカードの保有は8月末2745人、保有率は72・4%になっているが、マイナンバーカードを保有していても健康保険の情報が付いていない方も多い。

12月2日から健康保険の被保険者証が廃止どうなるの？

見込は、おおよそ国で550人、後期高齢者で550人で、被保険者証の有効期限になつた場合や、転職などでの健康保険が変更になつた場合などに交付することになる。

**質問者**

望月

**答** マイナンバーカードを持たない場合が3か月以内に迫ったが、マイナンバーカードの交付人数はどうなっているか。

**質問者** マイナンバーカードを持たないなどの場合の「資格確認証」の交付方法は。



役場総合窓口で取得受付

**新任**  
斎藤 美香氏  
【任期満了】  
清水 满寿美氏  
(4期)

人事案件へ  
同意  
教育委員会委員の  
任命

# 町政のここが聞きたい

YouTube  
公開中



小口英治

## ●美深町第6次総合計画の進捗状況と課題

問

**所有者に対応を要請  
法的手法は実施していない**

**危険家屋への対応は**

人と自然に優しい  
安心安全な町づくり  
の考えは。

町長 現在105件  
の空き家があり、  
町のホームページには  
3件を公開、現在準備  
中は2件の状況。町が  
借上げ、リフォーム等  
を手掛ける考えは今  
ところないが先進地の  
事例も参考にしたい。



**空き家の適切な管理についてのリーフレット  
(国土交通省HPより)**

均と同等の比率で8人  
が定住に結びついてい  
る。

ので美深のみならず、  
北海道唯一の品になる  
よう勧めていく。

当町の募集は活動内  
容が決まっているミッ  
ション型だが、隊員提  
案型、町と雇用契約の  
ない委託についても検  
討する。

副業は認めているの  
で公務員制度に照らし  
て対応する。

評価制度での評価にど  
う結びつくのか。

また職員の能力開発  
研修制度の構築、適材  
適所の人事配置はどう  
取り組んでいるのか。

ボランティア等積極的に参加  
している職員は、人事  
評価制度での評価にど  
う結びつくのか。

地域産業の振興  
持続可能な町づくり

質問 地域おこし協  
力隊の制度は新  
たな視点での町おこし  
には有効なアイテムの  
一つだが、今以上の積  
極的募集が必要であり、  
隊員提案型などの募集  
方法も必要に思うが。  
法は今のところ実施し  
ていない。

町長 電話、文書等  
で対処をお願い  
しているが、法的な手  
法は今のところ実施し  
ていない。

物件が8件あるが、こ  
れらは特定空き家等対  
策特別措置法に該当す  
ると思われるが取り組  
みは。

質問 地域おこし協  
力隊の制度は新  
たな視点での町おこし  
には有効なアイテムの  
一つだが、今以上の積  
極的募集が必要であり、  
隊員提案型などの募集  
方法も必要に思うが。  
法は今のところ実施し  
ていない。

町長 役場職員は若  
いうちに多くの  
課を回つてもらつて町  
の行政を理解したうえ  
で、町民とよりコミュニ  
ニケーションを深めて  
もらい、その上で人事  
異動を含めた配置にな  
る。

質問 常に町民の利益にな  
るようスポーツ、趣味、  
地域活動等、最低一つ  
でも関わって町民から  
の意見を拾えるよう対  
話をしている。

町長 協が事務局の農  
畜産販売推進会議があ  
る。

町長 今までに18人  
着任し、全国平  
均と同等の比率で8人  
が定住に結びついてい  
る。

質問 ボランティア等積極的に参加  
している職員は、人事  
評価制度での評価にど  
う結びつくのか。

また職員の能力開発  
研修制度の構築、適材  
適所の人事配置はどう  
取り組んでいるのか。

町長 協が事務局の農  
畜産販売推進会議があ  
る。

質問 常に町民の利益にな  
るようスポーツ、趣味、  
地域活動等、最低一つ  
でも関わって町民から  
の意見を拾えるよう対  
話をしている。

# 町政のここが聞きたい

YouTube  
公開中



●外国籍町民の皆さん的生活環境等について



もち づき きよ たか  
望月清貴

「ともに町民・生活者として交流を深め  
安心して生活できることが必要でないか」

問  
答

「お互いを認め合い 働きがいのある  
暮らしやすい まちにしていきたい」

町長 8月末現在で  
就労状況は、概数で  
農業35人程度、建設業3  
人程度、ほか教育など  
に従事されており、ほ  
とんどの方が、事業所  
が用意した住宅で生活  
されている。

質問 外国籍町民の皆さんの人口等の状況は  
外国人と世帯数、産業ごとの就労人数、生活基盤となる住居の概況は。

外籍町民の皆さんの努力や近隣の理解も拝察しながら、町が対応や支援すべき課題はないか伺う。

町長 (特に救急時)、医療  
福祉、医療  
力があり、雇用主等の支援もあると見える。急救対応に備えた通訳機器など意思疎通を準備、災害対応ではハ

質問 災害時の対応などに心配はないか。

町長 役場総合窓口に通訳機器を設置しているほか、外国語表記は今後見極め、研究したい。

質問 行政への相談・救急・災害の対応は行政の窓口対応、外国語表記、日常生活上の相談などの状況は。

町長 多くの方々は一定の日本語能  
力があり、雇用主等の支援もあると見える。多くのイベントに参加され、自治会、町民と交流を楽しんでお

質問 本語の習得、資格取得の支援などの充実は。



活躍するALTと地域おこし協力隊員

町長 人材不足を解消するうえで大変重要な人材であり、お互いを認め合い、交流を深めて就業いただき、働きがいのある、暮らしやすいまちと感じていただけるよう、雇用事業者や自治会とも連携して進めていく。

質問 新たな育成就労制度の創設もあり、これからは働き手として、プラス同じ町民・生活者として、安心して生活できることが必要と思うが。

ザードマップに外国语表記を予定しており、館の利用などもある。日本語の習得や資格取得は、支援の必要があれば対応したい。

り、日常的に町民体育館の利用などもある。日本語の習得や資格取得は、支援の必要があれば対応したい。

# 町政のここが聞きたい



中瀬亮太

YouTube  
公開中

## ●農業者人口の維持に向けた取組について

問

### 新規就農者・後継者対策は 美深町農業の課題ではないか

答

今後の情勢・制度に応じて、サポートできるよう対応していく

質問

本町における農業者の現状として、60歳から75歳が46%と高い割合であるが、それに比べ20歳から50歳は27%で、そのうち単身農業者が約22%であり、農業者人口を維持することさえも困難である現状となっています。

町長

や後継者が少ないとこも課題であると考えるので、リターン等の後継者獲得に向けた取組や後継者がいる世帯に対する規模拡大等に向けた支援が必要であると考え、美深町の基幹産業である農業の課題に対しても、町長の考えを伺う。

は、平成8年から現在まで居抜きを中心に行なった組の方が新規就農者として認定され、令和6年度1組経営をスタートさせ、80人以上の方々を移住定住者として迎えてきた。

単身農業者についても農業委員会が事務局となる美深町後継者育成推進協議会において、グリーンパートナー事業を実施し、配偶者確保へのきっかけづくりとして、取組を行っている。

新規就農者は居抜き経営を中心に進めている美深町であるが、新たな就農者の導入方法を維持することさえも困難である現状となっている。

30年前から全国に先駆けて新規就農者や後継者を支援する制度を創設し、担い手の育成確保、美深農業を持続的に発展させていくための重要な課題の一つであり、この間ずっと取り組みを進めてきた。

け、担い手づくりを応援している。  
就農後の支援として、安定的な農業経営ができるようがんばる美深農業支援制度を中心に行なわれ、細かく多角的に支援する制度もある。

農業従事者の減少は取り組んでいかなくてはならない課題であり、市町村が一体となって事業による支援を継続しながら、美深農業を支えて参りたい。



美深町婚活交流会の様子

# 町政のここが聞きたい

YouTube  
公開中



かき ざき いっ せい  
蠣崎一生

- ①市民体育館改修期間中の各種競技への対応と市民の安心確保について
- ②町商工業担い手支援条例に基づく人材育成奨励金の運用と地域経済の活性化について
- ③株式会社の経営健全化と持続可能な運営について

## 住所要件の追加は 実質的な制限ではないか

### 答 要件は移住を促すもの

**質問②** 町商工業担  
い手支援条例  
の「人材育成奨励金」  
は、新規就業者確保を  
目指す企業を支援する  
制度であり、当初は、  
就業者の居住地に制限  
を設けず運用されてい  
た。しかし、平成28年度  
から条例に記載の無い  
ものであり、現段階で

**教育長** 改修工事は約2年を要する見込み。  
改修期間中は町内学校体育館や公共施設を代替施設として利用し競技団体と協議して不利益が生じないよう調整していく。

**質問①** 老朽化による市民体育館改修工事が予定されているが、冬季のゲートボールなど学校施設を代替とするのが難しい競技もある。  
市民が安心して活動を続けるための対応策は。

**町長** 当初、この条例では新規就業者の住所に関して制限はなかつたが、平成28年度に6ヶ月以内に深町に住所を有する要件が追加された。これにより、町外から通勤する就業者も移住すれば支援を受けられるようになつた。要件は、移住を促すものであり、現段階で

**町長** 現在の運用に対する町長の考えは、また、制限を付ける必要ではないか。正が必要ではないか。

「原則6ヶ月以内に美深町に住所を有する」という要件が追加され、町外から通勤する就業者が支援対象から外れる実質的な「制限」となっている。

**再質問** 町長は「制限ではない」と言うが、実質的には制限になっているのでないか。

**質問③** びふか温泉や道の駅は、重要な観光資源だが、営業損益がマイナスで経営改善が進んでいない。是、見直す考え方はない。

**町長** 6ヶ月以内に移住するという要件は、制限ではなく、美深町に定住してもらうための条件。

**町長** 私は経営に関する素人。今年度計画は取締役の意見をもとに作成したが、大きな改善策は自ら作れないため、コンサルタントに委託した。

さらに、担当職員の認識不足や、企業との間で誤解が生じている現状にある。

経営コンサルタントの結果を待つだけで、具体的な取り組みが行われていない現状について、どう対応されるか伺う。

今後、職員への説明を徹底し、企業との誤解が生じないように努める。

## 議会の動き・予定

8/30	全員協議会
9/ 2	産業教育常任委員会 農作物生育状況視察
9/ 4	議会運営委員会
9/ 5	議会広報特別委員会
9/12	第3回定例会開会、 一般質問・提案説明
	総務住民常任委員会
	産業教育常任委員会
9/17	決算審査特別委員会
9/18	決算審査特別委員会
	議会運営委員会
9/19	議案審議、定例会閉会
	議会広報特別委員会
10/ 4	議会運営委員会 第6回臨時会
10/ 7	議会広報特別委員会
10/ 8	議会広報特別委員会
10/22	上川管内議会議員研修
10/23	議会広報特別委員会
10/29	厚沢部町議会行政視察受入

## 意見書3件を採択 国・道へ提出

- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- 国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直し、  
すべての子どもにゆたかな学びを保障する

高校教育を求める意見書

意見書の詳細は  
こちらで  
ご覧ください

## 第6回臨時会(10月4日)

- 令和6年度美深町一般会計補正予算(第5号)

【議案1件】原案可決 全員賛成

105年の歴史に終止  
の民間委託、翌年には  
特別養護老人ホーム

105年も9月現在3732  
戸の減少となってしま  
いました。

返つてみた。  
しかし地方自治体の  
奇しくも17年前の9  
月、私が議員になつて  
初めての投稿でした。  
その時のタイトルは  
「地方自治の義務と権  
利」をテーマにしまし  
た。

当時は、年金・消費税  
等課題山積の中での、  
安倍総理の辞任劇もあ  
りました。

当町においては、山  
口新町長、議会では道  
内町村初の女性議長の  
誕生もあつた中、財政  
健全化を示す公債費  
比率(地方債の発行に  
許可が必要な18%)も  
超えていました。

原稿を依頼され振り  
返つてみた。  
月、私が議員になつて  
初めての投稿でした。  
その時のタイトルは  
「地方自治の義務と権  
利」をテーマにしまし  
た。

当時は、年金・消費税  
等課題山積の中での、  
安倍総理の辞任劇もあ  
りました。



符を打った恩根内小学  
校の廃校、本年3月に  
は恩根内駅の廃駅と、  
当時、5361人の人  
ひと世帯数でも380

人との減少となってしま  
いました。

しかし地方自治体の  
役割は、どこに住もう  
と安心して生活が出来  
る環境を作り出す責任  
と、富める人にも貧し  
い人にも等しく公平サ一  
ビスを提供することが  
使命のはずです。

日本では裏金に始ま  
る政治資金・安全保障・  
経済政策等で揺れてい  
ます。

世界に目を向けると  
戦争・紛争・災害が目  
まぐるしく発生し、解  
決の糸口さえ見当たら  
ない。

国連の機能不全など  
政治の貧困を嘆かずに  
はいられない。

令和6年9月  
小口 英治  
記

一般質問  
人口減少での  
新たな課題、  
どう向き合うのか

一般質問  
放課後等  
デイサービスの  
必要性について

決算審査特別委員会  
■9月17日(火)  
開会・決算概要説明など  
1 環境・交通・防災など  
2 産業振興・観光  
3 教育・文化・スポーツ  
■9月18日(水)  
1 健康・医療・子育て  
2 住民参画・行政  
3 総括・まとめ

令和6年9月定例会 閉会しました

より多くの町民の方  
に議会活動を知つてい  
ただき興味を持つてい  
ただくため、令和6年  
度よりフェイスブック  
を活用して積極的に情  
報発信を行つています。  
ぜひフォローを  
よろしくお願ひし  
ます。

フェイスブックで  
情報発信中!!



「美深町議会」のフェイスブックは  
こちらからご覧いただけます

## 議会広報研修に参加

8月20日、札幌市で開催された全道町村議会広報研修に議会広報特別委員会の委員6名で参加しました。



クリニックでは鋭い指摘も

自治体広報広聴研究所の金井茂樹氏による「読者に読まれる議会報の企画と編集」と題した講演と広報クリニックが行われ、今後の紙面づくりに役立つ良い研修となりました。



読者に読まれる広報を目指します



10月22日、東神楽町で開催された上川管内町村議会議員研修に全議員で参加しました。

東京大学大学院法学政治学研究科教授の金井利之氏による「議員のあり方」、議会のあり方、「酪農学園大学農食環境学環境共生学類教授の佐藤喜和氏による「待ったなしのヒグマ管理の現状と課題」と題した2つの講演が行われ、とても興味深い内容に充実した研修となりました。



ヒグマとの共生をどう図る？

## 管内議員研修に参加



議員・議会はどうあるべき？



9月2日、産業教育常任委員会と農業委員会、美深町担い手育成総合支援協議会の合同による農作物の生育状況調査を行いました。

「デントコーン・水稻・

てん菜・かぼちゃの圃場、JA物流センター、農業振興センター試験展示圃を視察し、上川農業改良普及センター

も平年より多かつたものの生育はおむね順調との説明を受けました。

## 産業教育常任委員会



## 農業振興センター試験展示圃



## 地域おこし協力隊の実績と課題について

総務住民  
常任委員会

調査日

令和6年8月9日

調査事項・内容

①現状の配置状況  
(担当の業務内容)

本町では地域おこし協力隊の制度を平成24年度から導入し、これまで18人が活動している。現在、活動している地域おこし協力隊は2名である。

令和5年度からは、期間が2週間から3ヶ月以内のインターンの受入も実施している。これは、実際の協力隊員と同様の活動に従事し、着任後のイメージを持つてもらい、本隊の着任に繋げる取り組みである。

今年度は4名が着任する予定で、2名のインターンは既に任期を

終えているが、成果としては、松山湿原のデジタルガイドマップ、観光PR動画の制作、びふかアイランド内の英語表記の作成等が挙げられる。

協力隊員の任務中に起きた悩みや疑問について相談できる体制をとり、町担当職員と相談・議論を重ねながら任務を行っている。



## ②当町の募集方法

協力隊員の募集は、町のホームページでの募集とポータルサイト（現在5サイト）で掲載を行っているが、町民や美深町に縁のある方からの紹介などの割合も多い。

多くの自治体が活用しているサイトでは、美深町が目に留まる可能性が低く、今後の募集方法については、検討する必要がある。

協力隊員の任務内容については、事前に面談を行い、希望に沿った任務内容となるよう配慮している。

調査のまとめ

地域おこし協力隊は、町と協力隊員の双方が目指すものを達成できるよう任務内容を以上掘り起こし具体的にする必要がある。

任期終了後も定住する希望があれば、起業に必要な準備のほか、起業する分野でのスキ

## ③定住に向けての課題等



イベントへの関係人口として関わり続ける可能性もあるため、定住率・定着率だけが成果とは言えない。

任期終了後に定住に結びつかない要因の一につい、就職先の確保の課題があり、任期終了後の就業や起業につながるよう配属先を工夫する必要がある。

当制度は地元においては気づかない環境・経験・情報等を知ることができ、町づくりへの重要な視点も享受可能なので、各地の成功事例を参考にさらなる研究を望む。

併せて募集の方法についても、町の提示する任務内容以外での、フリーミッション型の研究も望まれる。

ルアップや人脈作りも大切な要素となる。町が提案する事業を託して委ねる方法もあるが、報酬額の算定が難しい面があるとの説明を受けた。

当町の現役隊員は2名だが、同じ上川管内の東川町75名、美瑛町・下川町15名となっている。

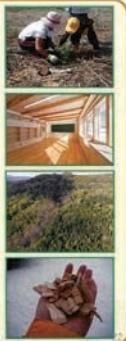
産業教育  
常任委員会

- ①J-クレジットの取組みと推進について  
②森林環境譲与税の活用について

## クレジットの付加価値

## BIFUKA AIR

- SDGsへの貢献
- 未来を担う子ども達へ木育活動
- 地元の森林認証材を使用した公共施設の建築
- 森林生態系に配慮した森林づくり
- 未利用間伐材を使用した木質バイオマスボイラー
- 太陽光発電による教育



- ①J-クレジットの取組み概要と今後の推進戦略について

## 美深町の取組み

美深町では、プロジェクト名を「美深町森林づくり」。長年の提携関係がある株式会社SUBARUと2018年7月に「美深町内の森林保全活動等の具体化に関する協定書」を締結し、年間700t CO<sub>2</sub>のクレジットを購入している。ただいている。その他、数社との取引で、2021年から2023年までに、2122t CO<sub>2</sub>を販売。「森林×脱炭素チャレンジ」は、「森林×脱

美深町では、プロジェクト名を「美深町森林づくり」。長年の提携関係がある株式会社SUBARUと2018年7月に「美深町内の森林保全活動等の具体化に関する協定書」を締結し、年間700t CO<sub>2</sub>のクレジットを購入している。ただいている。その他、数社との取引で、2021年から2023年までに、2122t CO<sub>2</sub>を販売。「森林×脱

吸収プロジェクト」とし、町有林において、森林施業によるCO<sub>2</sub>吸収量で創出されるJ-クレジットを活用し、地球温暖化防止に貢献する森林づくりを実施すると共に、行政と民間事業者との連携により地域振興施策の推進を図ることを目的としている。

令和6年8月5日

## 調査日

## 調査事項・内容

2023」で優秀賞を受賞したり、新たな購入者との交流を広げたりするなど、取組みをPRし、プロジェクトを推進を図る。

## ②森林環境譲与税の活用状況(令和4年度)

私有林の森林整備として、下刈りに189万2千円、73ha分、作業路補修に309万6千円、2750m分を充当。

## 調査のまとめ

## ②森林環境譲与税の活用状況(令和4年度)

## 調査のまとめ

課題としては、私有林の所有者不明が少なからず存在し、また町有林と私有林が「まだら」に混在している状況もあり、森林整備において効率が悪いことが挙げられる。

人材育成では、「北の森づくり専門学院」への負担金で5万円を拠出し、他に木造公共建築物の整備等として西団地公営住宅建替え2棟分の1156万円を充当している。



両委員会の報告  
全文はこちらから



